



～つながる学び ひろがる未来 夢を育む小中一貫教育～

笠岡市教育委員会 教育改革推進室

暖かい春の日差しを感じる頃となりました。子どもたちは、進級や進学に向けて胸を膨らませていることと思います。

さて、令和3年度・4年度の2年間の小中一貫教育試行期間が終わろうとしています。この2年間の取り組みを振り返り、来年度からの小中一貫教育本格実施に生かしていきたいと考えています。

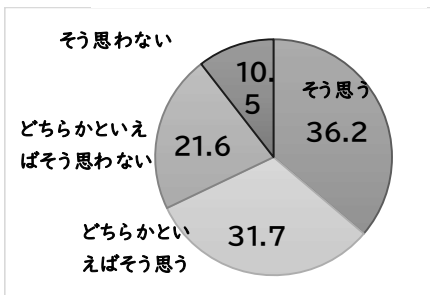
令和5年1月に実施した小中一貫教育に関するアンケート調査結果（対象：小中一貫教育を実施している学校の児童生徒小6・中1，教職員，学校）の主なものをお知らせします。

【令和4年度 小中一貫教育に関するアンケート調査結果】

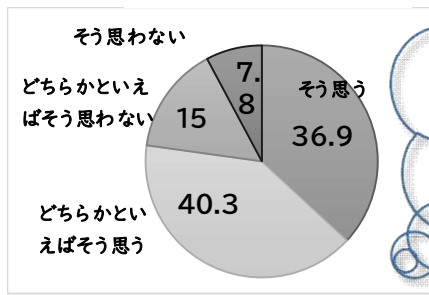
＜小6 アンケート結果より＞ （令和3年度 315名，令和4年度 293名 回答）

中学校で学習する内容が楽しみ

＜令和3年度＞



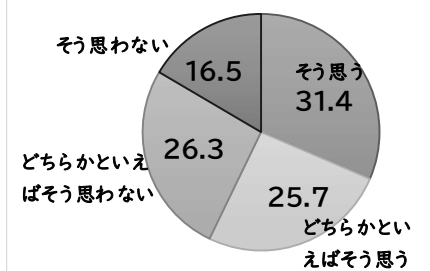
＜令和4年度＞



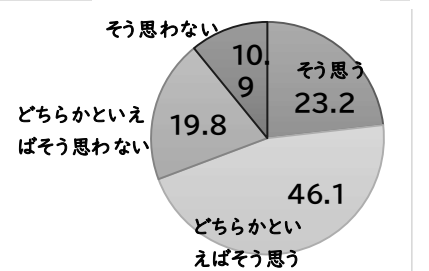
・中学校からの乗り入れ授業で中学校の教員から教わることにより、中学校の学習に興味関心が高まってきています。
・自分で時間管理をして宿題をする習慣がついてきていますが、さらに伸ばしていきたいと考えています。

自分で計画を立てて宿題ができそう

＜令和3年度＞

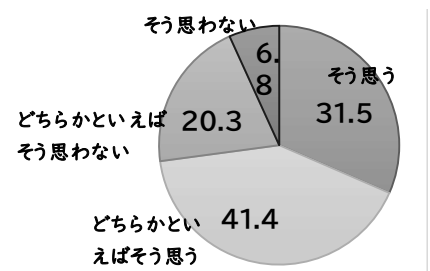


＜令和4年度＞



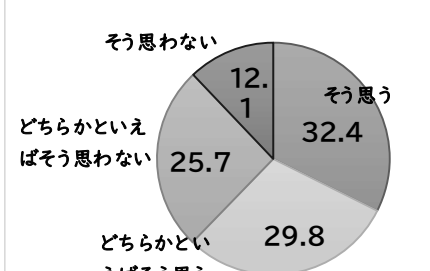
自分で計画を立てて宿題をしている

＜令和4年度 中1の回答 166名＞

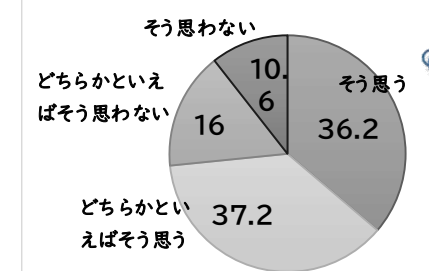


先輩と人間関係をつくるのは楽しみ

＜令和3年度＞



＜令和4年度＞



小学校と中学校の交流事業が進むことにより、肯定的な回答が増えてきています。

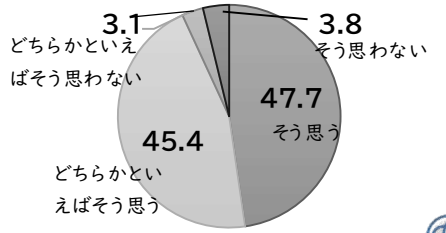
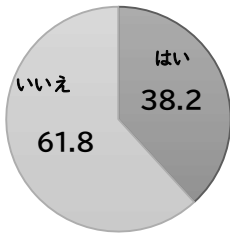
<中1アンケート結果より>

(令和4年度中学校1年生 166名 回答)

小学校の時、中学校で授業を受けたことがある

「はい」と回答した人

そのことは、不安を減らすことにつながったか



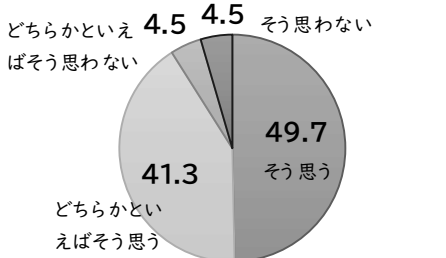
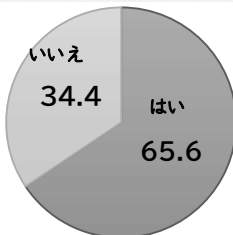
小学校の時に、中学校で授業体験をすることや、中学生に中学校生活について具体的に教えてもらうことは、中1ギャップの軽減に効果的だということがわかります。

これ以外にも、小中学校をつなぐ体験活動が各中学校ブロックで行われています。

小学校の時、中学生に中学校生活について説明してもらったことがある

「はい」と回答した人

そのことは、不安を減らすことにつながったか



小中学校の教職員が互いのよさを取り入れようとする意識が昨年度より高まってきています。そのことが、授業や生徒指導に生かされてきています。

肯定的な評価は昨年度とほぼ同様でした。「そう思う」の評価が少し増えてきました。来年度は、コロナ禍で制限されていた交流活動を充実させ、さらに児童生徒理解を深めていきたいと考えています。

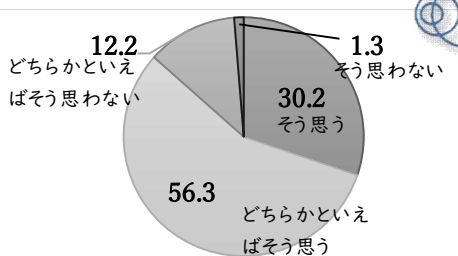
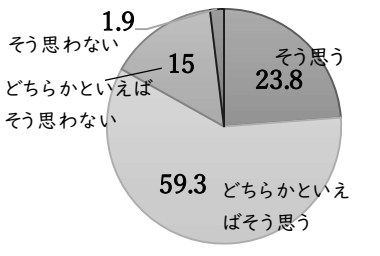
<教職員アンケート結果より>

(令和4年度教職員 222名 回答)

小中学校の教職員間の交流により、互いのよさを取り入れる意識が高まっている

< 令和3年度 >

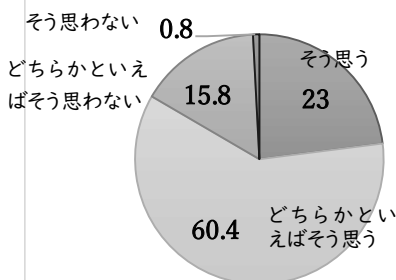
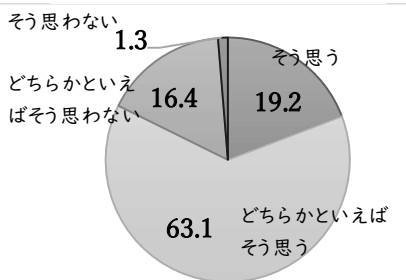
< 令和4年度 >



乗り入れ授業や小中学校の交流活動により、児童生徒理解が深まっている

< 令和3年度 >

< 令和4年度 >



小中一貫教育だより「つなぐ」は笠岡市教育委員会のホームページにも掲載しています。

なお、小中一貫教育に関するお問い合わせは下記にご連絡ください。

<小中一貫教育に関するお問い合わせ先>

笠岡市教育委員会学校教育課

Tel : 0865-69-2152 Fax : 0865-69-2186

e-mail : gakkoukyouiku@city.kasaoka.lg.jp